

ご自由にお持ち下さい。

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

najyodasu なじょだす

Vol.69

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院広報誌 vol.69

【なじょだす】(岩手の方言)

相手の健康を気づかうなど、「いかがですか」の意味。
当院のシンボルツリーのコナラの木は、正面玄関前にそびえ立ち、
訪れる人々に「なじょだす」と語りかけているかのようです。



県内の赤十字施設で盛岡さんさ踊りに出演
「優秀賞」を受賞しました!!

特集

産婦人科病棟へようこそ
地域周産期母子医療センター

● 地域医療連携室よりお知らせ
連携医療機関のご紹介

- 食中毒について
- 赤十字ふれあいフェスティバル
- **連載** 医訪人 研修医

特集

産婦人科病棟へようこそ 地域周産期母子医療センター



ホームページでも様々な情報を提供しておりますので、是非ご覧ください。

地域における周産期母子センターとして、新しい生命を迎えるためにスタッフ一同お待ちしております。
安心して出産に臨み、産後も安心して過ごせるようにサポートいたします。



妊婦健診

医師と助産師が協働して、診察や保健指導等を実施しています。
助産師による相談では、妊娠中の不安や困りごと、体調管理や出産・母乳育児に関する疑問など、あらゆる内容に応じています。

早期母児接触

出産直後に早期母児接触を行っております。初めての対面、ママと赤ちゃんの肌と肌の触れ合いはとても大切な時間です。



母親学級

助産師から妊婦さんに必要な妊娠・出産・育児に関する知識や情報を提供します。

- ・お産クラス（自然分娩編）（帝王切開編）
- ・子育てクラス
- ・両親学級（子育て）があります。



個室・多床室

産後はお部屋が選択できます。
個室でゆったり、4人部屋でゆっくり、差額のない6人部屋でリーズナブルに。



お祝い膳

出産された方へ、お祝いの意を含めまして、お祝い膳を提供しています。
洋食と和食から選択できます。

どちらのお膳も大変好評で喜んでいただいております。

★洋食膳★



★和食膳★



新生児治療室

早く生まれた赤ちゃん、呼吸の助けが必要な赤ちゃん、病気がある赤ちゃんたちが治療を受けたり、元気に大きく育つための部屋です。小児科医が主治医として担当します。



オリジナルフォトスポット

ご出産の記念に、赤ちゃんのご家族で盛岡赤十字病院オリジナルのフォトスポットで写真撮影しませんか。季節に合わせてバージョンが替わります。



助産師ケア外来 (産後 2 週間健診)

赤ちゃんの体重が順調に増えているか、お母さんの母乳の分泌や飲ませ方などを確認します。また、退院してからの疑問点や心配・不安に思ったことなど、一つ一つ解消できるようサポートします。



産後ケア ~産後の忙しい日々 to 安心とやすらぎのひとときを~

助産師による母乳や育児相談、休養と癒しのケアなどのサービスを産後 4 か月未満までのお母さんと赤ちゃんに実施しています。お母さんの入浴・赤ちゃんの沐浴・昼食おやつ・オイルトリートメント・睡眠・育児相談など受けたいメニューを準備しております。他院で出産した方もご利用いただけます。



★オイルトリートメント★

血流を促すことで産後の疲労やむくみなどを改善し、ホルモンバランスを整えます。

リラックス効果も期待できます。

★産後ケア沐浴の風景★

思春期講座

「思春期にこそ伝えたい話」、「思春期にしかできないかわり方」など、思春期に特化した『性教育』を専門的な知識・経験から講義をしています。思春期保健相談士の資格を持った当院の助産師が、小学校・中学校・高校に出向いて講座をしています。



産婦人科 Instagram アカウントを開設しました。通院や入院・出産に役立つ情報を写真や動画でご案内します。アカウントをフォローして、最新情報をご確認ください。



@jrc.morioka_sanka

夏に気をつけたい病気 ～食中毒について～

食中毒警報発令中！！

食中毒の発生がピークを迎えるのは暑い夏、7月から9月だと言われています。
食中毒を起こす原因には「細菌」「ウイルス」「自然毒」があります。
夏期に多く発生するのは「細菌」で、高温多湿を好み、梅雨から残暑にかけて増殖が活発化します。
食中毒の最盛期を迎え、気をつけることはたくさんありますが、食生活での基本的な予防について知っておきましょう。



食中毒予防の3原則

食中毒菌を **付けない** **増やさない** **やっつける**

① 付けない 【手と調理器具はいつも清潔に！手指に傷がある場合は要注意】

●手洗いの励行



手指に傷がある場合は
使い捨て手袋をするなど
素手で食材に触れないよう
気をつけましょう。

●食品を区別して 保管・調理

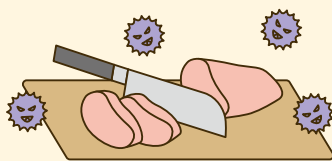


●包丁・まな板・ふきん等を 塩素系漂白剤等使用し殺菌する



② 増やさない 【食品は素早く調理、早めに食べる】

●調理中の食品、残り物を放置しない



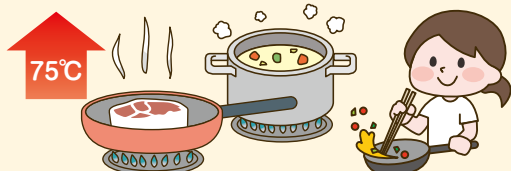
●食材の温度管理に注意



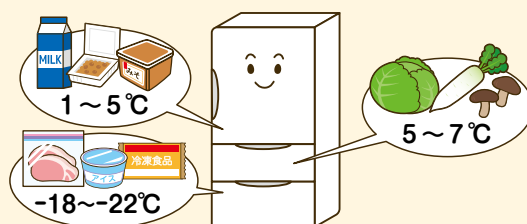
購入後はすぐに
冷蔵・冷凍で保管
しましょう。

③ やっつける 【中まで加熱、すぐ冷却】

●中心部が75℃で1分間以上加熱 (ノロウイルスの場合85～90℃で90秒間以上)



●冷蔵10℃以下、冷凍-15℃以下で冷却





地域医療連携室よりお知らせ

地域を
結ぼう

■連携医療機関のご紹介

見前ファミリークリニック

勤務医のときは、外科専門医、消化器外科専門医、小児外科専門医として、手術、術後管理、急患対応、そして手術の毎日。開業してからはかかりつけ医として地域の人々の健康を守るため、お話の中から体調のわずかな変化に気を付けております。高齢、一人暮らしの方が多くなり、具合が悪いのに我慢していることも。働き方改革の中、各科の先生方、スタッフの皆様には大変お世話になっております。これからもよろしくお願いいたします。



院長
岩見 大二 先生

- 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳12地割20-1
- TEL : 019-632-6300
- 外来診療時間（月曜日～土曜日）
診療時間 午前 9:00-12:30 午後 14:00-18:00
※水・土：午後休診
※日・祝日：休診



赤十字ふれあいフェスティバル

去る令和6年6月23日（日）にイオンモール盛岡にて赤十字ふれあいフェスティバルが開催されました。当日はたくさんの方々にご来場いただき、赤十字事業について県民の皆さまに広く理解いただくことができました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！



(総務課)



研修医
萩原 丈之

盛岡赤十字病院研修医の萩原丈之と申します。

温かく接してくださる地域の皆様、経験豊富な先生方、ともに切磋琢磨できる仲間たちのおかげで、とても恵まれた環境で日々研修を積むことができております。

岩手県に越してきて、早6年の月日が経過しました。美味しい食べ物、心あたたかい県民性、雄大な自然に囲まれて、人生の中でとても貴重で素敵な時間となりました。幼いころ岩手に住んでおり、自分を育ててくれた、大好きな岩手県で医師として働けること、本当に嬉しく思います。

地域の医療に貢献できますよう精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



研修医
熊谷 蓮奈

初めまして。今年度から研修医として盛岡日赤病院に勤めている熊谷蓮奈と申します。過ごしやすい季節はあっという間に過ぎ去り、今年も暑い夏がきましたね。岩手に住んで7年目ですが夏、暑いですよ。けれど虫の声やもくもくの雲を見ることがや雨上がりの匂いは大好きです。

日赤に来てから4ヶ月と少しが経ちますが、医療人の方だけでなく患者さんとお話する機会が大学時代からすると圧倒的に増え、毎日とても楽しいです。と同時に知識、経験不足を実感し、学ばさせていただくことがたくさんあります。

皆さんが毎日健やかで楽しくいられることをサポートできるような医師になりたいです。日々精進いたしますのでよろしくお願いいたします。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院

〒020-8560

岩手県盛岡市三本柳6地割1番地1

Tel.019-637-3111 Fax.019-637-3801

広報誌「なじよだす」Vol.69 令和6年8月1日発行

編集／発行 盛岡赤十字病院広報委員会

藤原 純、川村美奈子、田中 陽子、富岡 幸子
梅村 景太、坂本 亜美、菅原 陽介、寺尾 優紀
及川 冬馬、齊藤 純子

盛岡赤十字病院

検索